



2025年2月7日

各 位

会社名 株式会社ラックランド
代表者名 代表取締役社長 笠原 弘和
(コード番号：9612 東証プライム)
問合せ先 取締役管理本部長 磯部 伸弘
(TEL：03-3377-9331 (代表))

2024年12月期における費用の一括計上と通期連結業績予想及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会の決議にて、下記のとおり、2024年12月期に一過性の費用を一括で計上することと最近の業績の動向等を踏まえ、2024年6月14日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正することとしましたのでお知らせします。

記

1. 当期における一過性の費用の一括計上について

当社は、2024年8月30日開催の第54回定時株主総会で選任された新経営陣により、ガバナンスやコンプライアンス及びリスク管理の体制を強化するべく取り組んでおり、弁護士や公認会計士の有資格者や、当社とは異業種の経営者の経歴等の多様な専門性を持つ社外取締役や社外の公認会計士が参加した（オブザーバーとしての参加を含む）取締役会、監査等委員会及びリスク・コンプライアンス委員会等の中で、例えば交際接待費、関連当事者取引及び多額の受注案件の採算について精査及び検証を行い、上場会社として相応しい経営体制の下で利益を創出できるように対応を進めております。

そのように新経営陣によりコンプライアンス強化をしているところ、当社においては以前から振替休日の買取制度が存在し、また、65歳まで勤務することを確約した一部従業員に対し、同年齢まで勤務したときに永年勤続退職金を支給する制度が存在しており、これらについて制度を改めることと致しました。

これら制度変更之际し、振替休日買取に係る従業員への支払い賃金及び退職金についての会計処理等をリスク・コンプライアンス委員会が社内ヒアリングのうえ、検証した結果、2024年12月期第4四半期にて以下の費用を過年度も含め一括計上することと致しました。

合計 約699百万円

(内訳)

振替休日買取に係る賃金支払い（当社及び当社子会社）	約597百万円
永年勤続退職金（当社）	約102百万円

2. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年12月期の通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2024年6月14日公表)	百万円 45,000	百万円 800	百万円 800	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	47,659	233	388	△479	△46.61
増減額(B-A)	2,659	△566	△411	—	
増減率(%)	5.9	△70.8	△51.4	—	
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	45,116	460	612	252	24.58

(2) 修正の理由

当社は、2024年12月期について受注環境が比較的良好であり、売上高、営業利益及び経常利益については2024年6月14日付で公表した期初連結業績予想と比較して、連結業績予想修正が不必要な変動幅での着地を見込み、連結業績予想修正を実施しておりませんでした。

一方で、前記「1. 当期における一過性の費用の一括計上について」のとおり、合計約699百万円の費用を労務費、及び、販売費及び一般管理費にて2024年12月期第4四半期で一括計上したため、営業利益及び経常利益は期初連結業績予想を下回る結果となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株あたり当期純利益については、2024年12月期中間連結会計期間において特別調査委員会、過年度訂正及び改善措置支援等のための外部専門家費用等として1,163百万円を特別損失として計上しましたが、第54回定時株主総会終結時まで取締役であった旧経営陣への責任追及及び賠償請求の進捗具合によって、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく左右されることから、未定としておりました。当社は、旧役員陣への賠償請求の手続きを進めているものの、2024年12月期において賠償請求の結論が出ず、2024年12月期連結業績への計上すべき事象は現在まで発生していないこと、そして、前記「1. 当期における一過性の費用の一括計上について」に係る費用計上により、2024年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益及び1株あたり当期純利益の連結業績予想を以上のとおり修正するに至りました。

3. 期末配当予想の修正について

(1) 2024年12月期の期末配当予想の修正

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年6月14日公表)	—	15円00銭	15円00銭
今回修正予想	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	—	—	—
前期実績 (2023年12月期)	—	0円00銭	0円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと考え、配当については、安定的な配当の継続を基本とし、業績動向及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案し決定する方針を採用しております。

そのような中、2024年12月期の連結業績については上記の「2. 連結業績予想の修正について」のとおりであり、当社の財務状況等を鑑み、誠に遺憾ではございますが、2024年12月期の期末配当を無配に修正させていただきます。株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、新経営陣の下、可能な限り早期に復配できるように努めてまいります。

(注) 上記の連結業績予想及び配当予想につきましては、本資料の公表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる予想数値となる可能性があります。

以上